

米軍基地環境カルテ

久米島航空通信施設（施設番号：FAC6279）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

77. 久米島航空通信施設（施設番号：FAC6279）	77-1
77.1 基本情報	77-1
77.1.1 名称	77-1
77.1.2 所在地、広さ（施設面積）	77-1
77.1.3 施設の概要等	77-1
77.1.4 施設の管理及び用途	77-1
77.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	77-1
77.1.6 土地利用規制図	77-2
77.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	77-2
77.2.1 基地等の土地の状況	77-2
77.2.1.1 地形分類図	77-2
77.2.1.2 表層地質図	77-2
77.2.1.3 土壌図	77-2
77.2.1.4 切盛土分布図	77-2
77.2.2 基地内の施設の使用状況	77-2
77.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	77-2
77.2.2.2 施設等使用履歴	77-2
77.3 基地等の環境状況	77-3
77.3.1 自然環境（植物）	77-3
77.3.1.1 現存植生図	77-3
77.3.1.2 植生自然度図	77-3
77.3.1.3 特定植物群落	77-3
77.3.1.4 重要な種、貴重な種等	77-3
77.3.2 自然環境（動物）	77-4
77.3.2.1 重要な種、貴重な種等	77-4
77.3.3 水利用状況	77-4
77.3.3.1 水利用状況	77-4
77.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	77-4
77.3.3.3 河川及びダムの分布状況	77-4
77.3.4 地下水の状況	77-5
77.3.4.1 地下水基盤面等高線図	77-5
77.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	77-5
77.4.1 事故等の概要	77-5
77.4.2 事故等発生場所	77-5
77.5 環境調査を実施する場合の留意事項	77-5
77.6 その他情報	77-5

77.7 環境等に関する通常監視について	77-5
----------------------------	------

77. 久米島航空通信施設（施設番号：FAC6279）

77.1 基本情報

77.1.1 名称

久米島航空通信施設（施設番号：FAC6279）

77.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和 47 年 5 月 15 日>

所在地：具志川村、仲里村

広 さ：約 230,700 m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

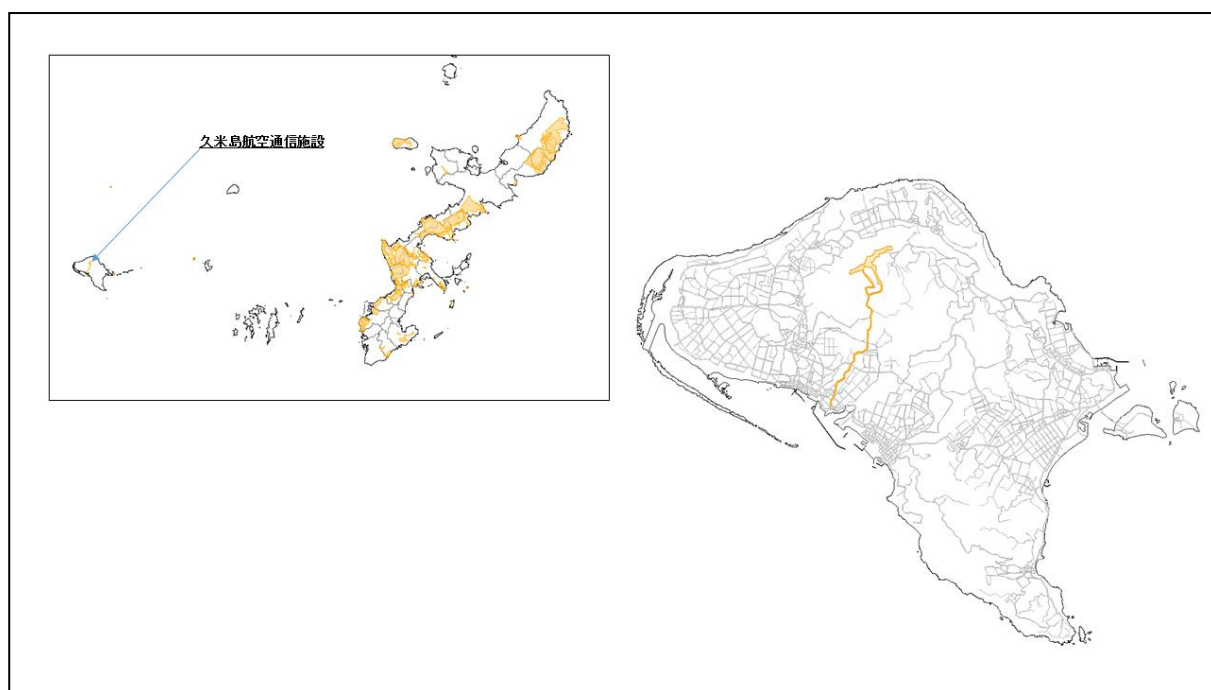


図 77-1 久米島航空通信施設の位置図（昭和 47 年時）

77.1.3 施設の概要等

昭和 48 年 5 月 14 日、全部返還。

77.1.4 施設の管理及び用途

昭和 48 年 5 月 14 日、全部返還。

77.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は航空自衛隊那覇基地久米島分屯基地へ引き継がれている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

77.1.6 土地利用規制図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図D」に示す。

77.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

77.2.1 基地等の土地の状況

77.2.1.1 地形分類図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図D」に示す。

77.2.1.2 表層地質図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図D」に示す。

77.2.1.3 土壌図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図D」に示す。

77.2.1.4 切盛土分布図

久米島航空通信施設跡地の切盛土分布図は作成されていない。

77.2.2 基地内の施設の使用状況

77.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

久米島航空通信施設の施設配置図は確認できなかった。

77.2.2.2 施設等使用履歴

第二次世界大戦中	一時、日本軍の駐屯基地として使用。
昭和 20 年	米軍の沖縄占領と同時に、軍用地として接収される。
昭和 24～25 年頃	米軍の基地建設が始まり、恒久の建物、宿舍、進入道路、軍港等に加えて通信用のレーダーが完成し、沖縄県を中心とする米軍防空警戒網のひとつとして常時使用される。
昭和 46 年 6 月 30 日	約 45,000 m ² を返還。
昭和 47 年 5 月 15 日	「久米島航空通信施設」として提供開始（使用主目的：航空警戒管制サイト）。
昭和 47 年 11 月 2 日	約 2,000 m ² を返還。
昭和 48 年 5 月 14 日	全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

＜主要建物及び工作物＞

建 物：事務所、宿舎、倉庫、送（受）信所、等

工作物：進入道路、軍港、通信用レーダー、等

出典：「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）を参照

77.3 基地等の環境状況

77.3.1 自然環境（植物）

77.3.1.1 現存植生図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図D」に示す。

77.3.1.2 植生自然度図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図D」に示す。

77.3.1.3 特定植物群落

久米島航空通信施設跡地及び周辺の特定植物群落を表 77-1 に示す。久米島航空通信施設及び周辺の特定植物群落として「久米島大岳のイタジイ群落」、「イシキナハ御嶽の石灰岩地植生」がある。

表 77-1 久米島航空通信施設跡地及び周辺の特定植物群落

No.	名称	選定基準	相観区分	備考
1	久米島大岳のイタジイ群落	H	亜熱帯常緑広葉高木林	
2	イシキナハ御嶽の石灰岩地植生	D, E	亜熱帯常緑広葉高木林	

◆ 特定植物群落の選定基準は以下のとおり。

A：原生林もしくはそれに近い自然林

B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群

C：比較的普通にみられるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地にみられる植物群落または個体群

D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G：乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群

H：その他学術上重要な植物群落または個体群

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

77.3.1.4 重要な種、貴重な種等

久米島航空通信施設跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成 27 年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

77.3.4 地下水の状況

77.3.4.1 地下水基盤面等高線図

久米島航空通信施設跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

77.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

77.4.1 事故等の概要

久米島航空通信施設及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成15年3月、沖縄県基地対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成20年3月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「環境白書【平成24年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成25年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成26年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

77.4.2 事故等発生場所

久米島航空通信施設及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

77.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

77.6 その他情報

特になし。

77.7 環境等に関する通常監視について

久米島航空通信施設及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和51年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和53～平成16年版 環境白書（昭和52～平成15年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成16～26年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

